

長泉町わくわく塾・伊豆八十八霊場巡礼報告書

報告者 天野和子・山口五月

年月日 平日＝2008年06月12日（木・雨）
休日＝2008年06月22日（日・雨）

回数 2007期＝第14回巡礼・36名（現地参加2名）
2008期＝第02回巡礼・15名（現地参加なし）

巡礼寺・順 ● 五十八番札所 正眼寺（しょうげんじ）

- * 本尊・正観世音菩薩
- * 山号・稻荷山
- * 臨濟宗・（建長寺・末寺）
- * 草創・1351（観応五年）

- * 開創後に、衰退していたのを、僧・獲麟が再興、1890（明治二十三年）近くにあった、守源寺を併合する。
- * 六十二番札所、法伝寺は無住職のため、ご朱印はここでいただく。
- * 現住職は24代目

● 五十九番札所 海蔵寺（かいぞうじ）

- * 本尊・弥勒菩薩
- * 山号・瑞雲山
- * 草創・不明だが豆州誌稿によれば、もと仲木地区にあったという。当寺は、比叡山延暦寺に属する天台宗の寺であったが、天文年中（1532年～1555年）現在地に移され英仲亀和尚を開山として、臨濟宗・建長派に属するようになった。
- * 本尊・弥勒菩薩像は行基（ぎょうぎ）作と言われる。また、伊豆七福神の布袋尊が祀られてあり、伊豆横道三十番札所でもある。
- * フランスの郵便船ニール号は、明治7年（1874年）船長ほか89名が乗り、香港から横浜への途中、3月20日風波で入間沖に座礁転覆。その時の死者をここに葬り、ニール号遭難者十字架塔として追悼碑を建てた。
- * お多福像が多数あり。
- * 現住職は20代目。

距離	約8 Km + 8 Km = 16 Km
タイム	下土狩5:40ー下田駅7:45ー青龍寺発8:20ー旭洋丸水産(アロエセンター向)9:00~9:45ー正眼寺10:00~10:20ーあいあい岬11:20ー仲木11:45~12:30(バスで昼食)ー海蔵寺13:00~13:45ー県道14:00ー「銀の湯」14:25~16:30ー天城峠ー下土狩18:50
温泉	下賀茂「銀の湯」(900ー×団体割引0.8=720ー)
その他	法話=正眼寺(2000ー)臨濟宗の話。ご本尊、正観世音菩薩像の特別御開帳など。

3時起床。巡礼の日は何故か3時。まだ、暗闇の外の気配を伺います。梅雨の真っ只中。しかも、大雨注意報発令中。しばし、テンションは下降気味。まっ、しょうがない。気を取り直して支度に取りかかる。



庭先にブーゲンビリアが咲いていた

5:25。OA~、おなじみの顔、顔、にご挨拶。ヨロシク!バスの中でG講師が、先日入手した般若心経のCDを流してくれた。(巡礼モード全開!)

いいお声で心地よく耳に響く。朝もやが晴れていく様の中々いい。田んぼの緑が美しい。雨も小降りだし、いい感じ、、、と、ノー天気になるが、下田に下ると稲生沢川が増水して、泥水が凄い流れ。雨より土砂崩れの不安が頭をよぎる。

8:15。前回最終手前、青龍寺の手石をスタート。ナマコ壁の蔵や家が珍しい。榎(まき)の生垣、庭先のブーゲンビリアが美しい。

この先の弥陀山トンネルは、「出口に立って、入り口を見ると両側に海が見えます」と、下田の古道探索家・Sさんの説明。

出口の先には、初代立行司・式守伊之助生家(碑)があった。しばし、皆さん相撲談義。どうも皆、朝青龍が嫌いらしい。国技、相撲の将来を憂うことしきり。かく言う筆者もその一人。

伊豆最南端らしく、ハイビスカスの真っ赤な花が雨の中、傘をさして黙々と歩く私たちに元気を与えてくれる。花屋で売られている鉢植えのものとは、イ

メージが程遠く、ここでは身の丈以上あり、ちょっとオドロキ。突然「ギャ〜！」の悲鳴。

ナンダ、ナンダ、、、と、蛇の交通事故死。思わず顔を背ける。Aさん、「今年初物です」

9:15。休憩、大雨です。この辺は「下流」(したる)の変わった地名。近くには「仏浦橋」の気持ち悪い橋もある。石廊崎沖で遭難した土佐衛門が多く流れ着く特異浜?だそうだ。

赤穂浦の坂道。何か作っている気配。早々、探索家氏が探索?すると、「蜜蜂の巣箱」の返答。それにしても随分、手の込んだ芸術的な巣箱。一同「へェ〜！」

9:25。朝からG講師が盛んに喧伝していた花狩園内・旭洋丸水産に到着。干物の試食や麦茶でもてなしてくれる。サバ・アジ・アナゴ・

いちばん食べたの誰〜れ?



式守伊之助生家の碑



イカ・サンマ、、、焼けるのが待ち切れない。ああ、ああ〜、そのイカ、私のだっちゅ〜の！！

9:45。お土産の干物を買ひ、さあ、出発。

10:00。石室トンネルを通過し、正眼寺到着。急坂を上れば和尚さんが笑顔で待っていた。ズブ濡れで躊躇している私達に「ご苦労様でした。どうぞどうぞ、お上がり下さい」と優しいねぎらいのお言葉に一同ホッ。

しかし、お経を唱えるも中々、我々と噛み合わない。続いてのご法話では、心に残った言葉が幾つか、、、。

- ～己の清浄な心を具現化したのが のが仏様（仏像）、、、、
 ～ “ 文字に表したのがお経、、、
 ～ “ 映し出したのが、多くの民衆（人々）、、、、

お経を唱えることにより、本来の清冽な心を保つことが出来る。

「仏とは、遠くにあらじ、我が心」（白隠禅師）

天井の龍の絵が立派で歴史を感じました。また、Kさんの口添えが功を奏し、正観世音菩薩像を特別にご開帳して戴き拝観出来た。

10年前に塗り直したと言う菩薩像は金色に光輝き、柔和なお顔をされていた。

またしても、Kさん、Sさんが手招き。お寺の由来、歴史等をしたためた額があり、私達が報告書の当番と言うことで、何かと気を使って下さる。お二人に感謝、感謝。さて、額の内容は、



正眼寺住職

「南朝正平五年、九十八代・長慶天皇の御代（足利幕府）に臨濟宗・鎌倉建長寺派に属していた、、、」（以下略）



金色の正観世音菩薩

色とりどりの紫陽花や、うす紫のアガパンサスを楽しみながら、入間集落に

10:00。再び雨の中、出発。山門で合掌し振り返ると、ご住職夫妻が笑顔で並んで見送って下さった。本当に「素朴」なお人柄で癒されました。また、傘の忘れ物を息子さんが車で追いかけて届けて下さる、と言うエピソードがありました。

11:20。あいあい岬にて小休止。
 11:45～12:30。ここから仲木集落に下りてバスの中で昼食。雨の中とはいえ、昼食は楽しい、、、

手作り自慢の様々な料理がバスの中を行ったり来たり。

「う～ん、美味しい!」「うまい!」
 あ～、有り難や有り難や。

入る。かなりの坂を下りながら途中、サワガニを見つけ手に乗っけて遊ぶ人。交通事故に遭うからと、道路脇に連れていく心優しき人。「唐揚げにすると美味しいよ」などと、のたまう人、、、、。



海蔵寺の大きなお多福さん

13:00。海蔵寺着。山門まえに何故か大きな「お多福」像。山門を潜ると右手にイケメンの六地藏様。

左手には小型のお多福像が点在。エンゼルトランペットの大きな花から甘い香りが漂う。雨で汚れているので外でお経を唱えるも、ご朱印の手伝いで中へ。ちょっとコワモテのご住職（失礼！）。話をしてみると、意外に話好

きで、お多福像の由来を尋ねると、

昔、鐘桜を建立する時、宮大工が誤って、柱4本のうち1本を短くしてしまった。棟梁がどうしたものかと、思い悩んでいると、女房がお多福さんが、「短い柱に桁をはかせれば」と助言し、事なきを得た。

ところが、男の仕事に女が口を出したことを申し訳なく思い、お多福さんが自害した。その供養のため像を寄進したものだ」との事でした。

また、本堂に威厳のある僧侶の写真があり父だと言う。「自分のもあるから見て行きなさい」とも言われ二人で見に行った。

ここには珍しい携帯木魚があった。指で弾くと、ポコポコ可愛い音が出る。本当はカスタネットの様に叩くそう。G講師が中をウロウロして見つけ、ちゃっかり2ヶ貰ってしまった。ちなみに、Sさん、Wさんは、真面目に1000円で購入（お布施？）した。

販売しているようだが、駄目だったら手作りして、会員にプレゼントしたい？とのこと。泣けてくるじゃありませんか。期待しています。

13:45。出発。今日は雨につき二ヶ寺で終了。途中、コンビニに寄って、ガソリンと美味しいものをゲット。

14:25～16:30。「銀の湯」で待ちに待った温泉タイムです。雨で疲れた体に温泉は何よりご馳走です。しかも、今日はタップリ2時間。湯上りは

例によってSさんにピアを勧められクィーツ・プハ〜！！

報告書当番二人ともホロ酔い気分で、喋って・食べて・飲んで・楽しいひと時が過ぎて行きます。

16:30。ドライバーのKさんがバスを玄関先までつけてくれる。湯上りの体を雨に濡らさないようにとの配慮に感謝。

河津から天城峠に向かうと、川の流れが朝より更に増し怖いくらい。しばらく行くと、ドライバーが「河津町谷津から下田白浜間が土砂崩れで全面通行止だそうです」と告げる。一同、「エ〜ッ」。

何はともあれ悪天候の中、皆無事に笑顔で帰れることは、本当に幸せ。目に見えないものにいつも守られていることを感じる幸せ。本当に感謝です。

合掌

【休日巡礼・車内で一人ひと言】

- ・紫陽花が綺麗だった。
- ・海蔵寺にニール号の記念碑がある。
- ・雨の中（無事）歩いて良かった。
- ・先月・今月も雨なので来月は晴れるといい。
- ・元気に歩いて幸せ。
- ・滑って転んで一等賞。
- ・雨の中の紫陽花の花が良い。
- ・海蔵寺のたたずまいが良い。
- ・和尚さんの顔も見ない。声も聞けなかったのも、お寺との結びがあった方がいい
- ・「アガパンサスの花」一つ花の名前を覚えた。
- ・雨の中を歩き、たっぷり温泉に浸かった。
- ・メガネが曇った。雨の中を歩くのは大変。
- ・（正眼寺の）ご住職のお話をヒヤヒヤして聞いた。真面目で真摯なお方。
- ・（海蔵寺）本堂に物（ガラクタ？）が多い。ハンサムな写真があった。
- ・2時間のお風呂タイムは非常に良かった。
- ・紫陽花は雨に似合う
- ・正眼寺の和尚さんの話が印象的。
- ・雨の中、黙々と歩いた。
- ・色々な紫陽花が綺麗だった。
- ・先月、トンネルの中で滑ったが大事には至らなかった。仏さまが守ってくれたと思う。
- ・先月、銀の湯に化粧ポーチを忘れた。今回、尋ねたら係りの方が保管してあり届けてくれた。
- ・携帯木魚作りに挑戦する。
- ・伊豆の寒村に暮らすのは大変なことだろう。



平日巡礼の皆さん

・ 雨は自然の摂理。素直に受け入れ「楽しむ」心の大きさを持ちたい



休日巡礼の皆さん